

経営比較分析表（令和4年度決算）

滋賀県 総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	32	対象	I 訓ガ	救 臨 が 地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,413,989	72,610	非該当	非該当	7 : 1

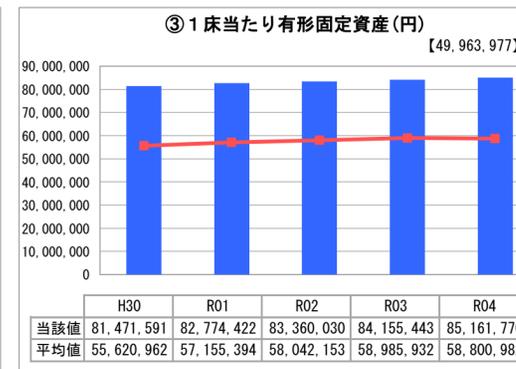
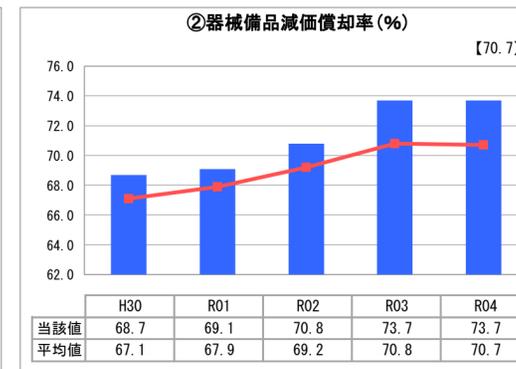
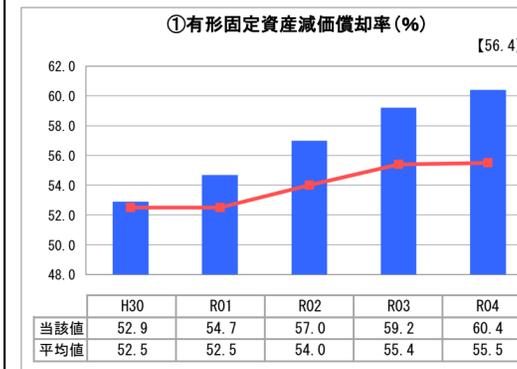
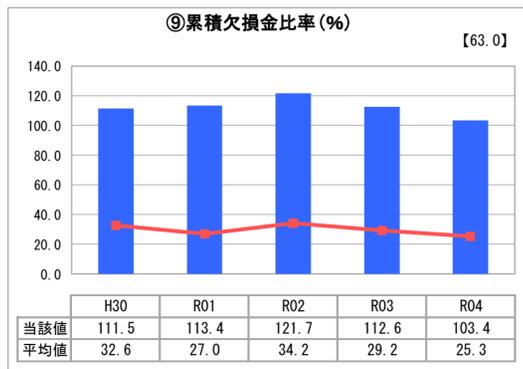
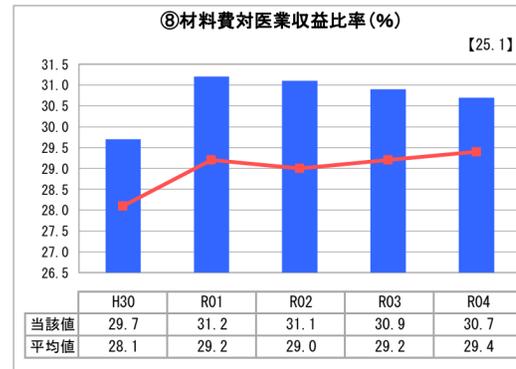
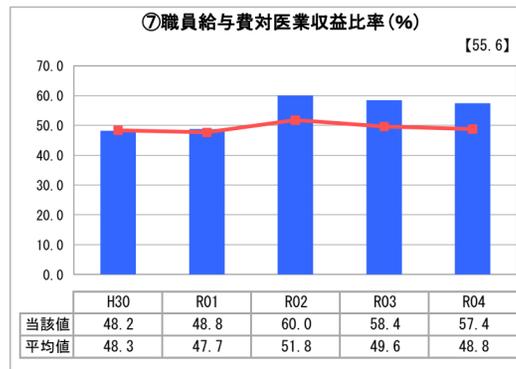
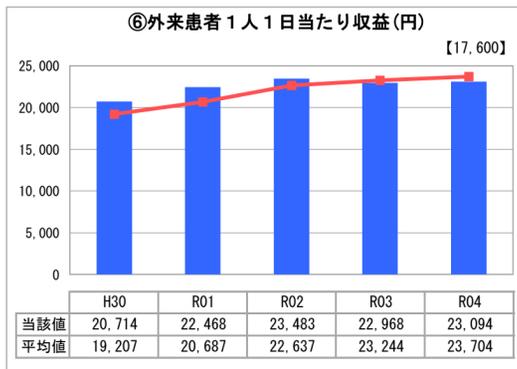
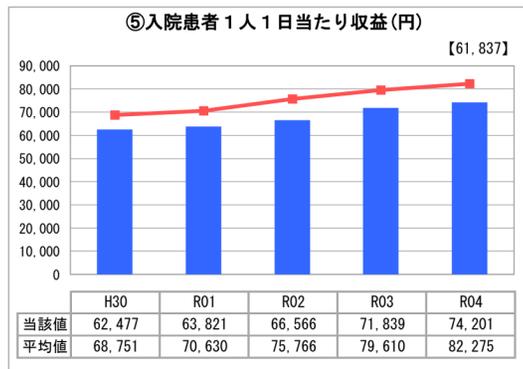
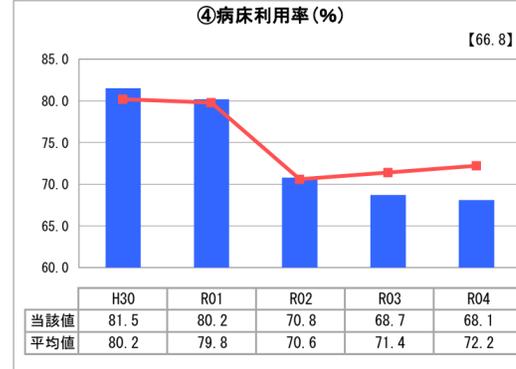
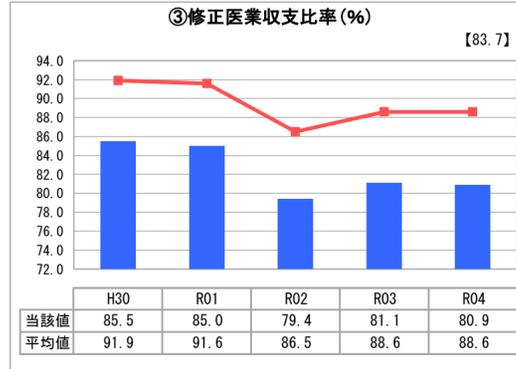
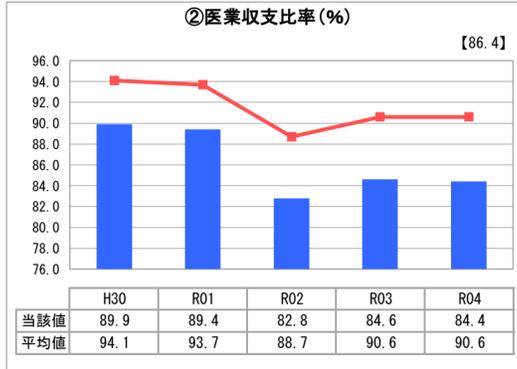
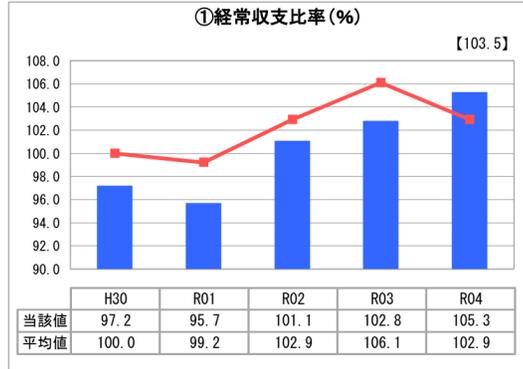
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
535	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	535
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
535	-	535

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

- ・がんをはじめとした専門分野において、手術、化学療法、放射線治療のほか、リハビリテーション、再建医療、緩和ケアも含めた多角的、総合的な医療を提供するなど、県内全域を対象とした高度な医療の提供を担っている。
- ・新型コロナウイルスの対応については、令和2年4月より重点医療機関として患者の受入を開始しており、専用病床を36床確保して積極的に受け入れてきた。令和5年3月には県内初となるコロナ後遺症外来を開設する等、重点医療機関として求められる役割を果たしてきた。
- ・また、本来の役割であるがん・心疾患・脳血管疾患等の生活習慣病に対する高度医療、救急医療等を確保することも求められており、令和4年度はMRI装置やPET-CT装置を更新する等、高度・専門医療提供体制の充実を図っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・積極的に新型コロナウイルス感染症対応に注力したことで、新型コロナウイルス感染症対応に係る補助金を得たこと等が寄与し、経常収支比率は3期連続増加した。また、令和4年度には全国平均値を上回った。
- ・入院、外来ともに1人1日当たり収益は増加しているものの、コロナ患者専用病床の確保と、その対応にかかる人員を確保するため病床を休止した影響等により、病床利用率は低下。医業収支比率は前年対比微減となった。
- ・材料費対医業収益比率については、3期連続で減少しているものの、当院は高額な抗がん剤治療等にも幅広く対応しているため、依然として全国平均値を上回った水準にある。

2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産については平成28年度に建設した新病棟にかかる減価償却額が累積し、有形固定資産減価償却率が高水準にある。
- ・医療技術が高度化する中で、引き続き安全で質の高い医療を提供していくため、建物・医療機器の整備・更新は必要不可欠である。当院は高度・先進医療の提供が求められており、それに向けた整備・更新を進めていることから、器械備品減価償却率、1床当たり有形固定資産が全国平均を上回っている。

全体総括

- ・当院では、がん、血管病（脳神経、循環器など）をはじめ、加齢に伴って複合的に生じる疾患に対して困難な症例にも対応できるよう高い専門性を有する人材を確保するとともに、高度な設備、機器を整備してきたところである。
- ・令和4年度は診療単価の上昇や補助金の活用により、経常収支が3年連続で100%を上回った。その一方、新型コロナウイルス感染症対応のため病床・人員確保が続いており、医業収益はコロナ禍以前と比較しても低い水準が続いている。
- ・今後も引き続き、安全で質の高い医療の提供に努めて、収益の確保につなげていくとともに、労働生産性の向上による時間外勤務の縮減や、価格交渉による材料費の削減など費用の適正化を図り、累積欠損金を減少させていく必要がある。また、患者数や医業収支を改善していくことも今後の課題である。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和4年度決算）

滋賀県 小児保健医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	-	訓	臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,413,989	12,970	非該当	非該当	7：1

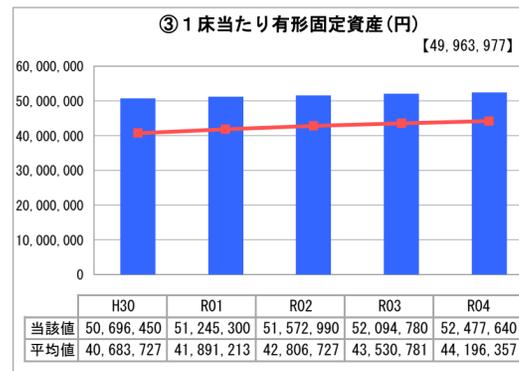
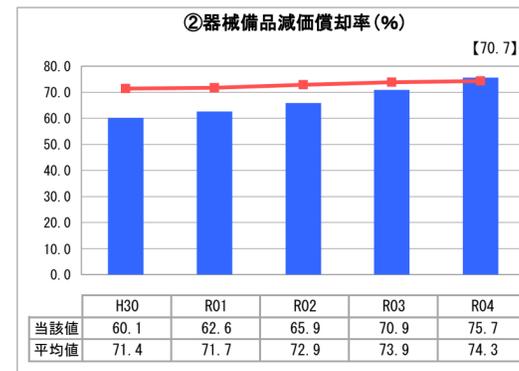
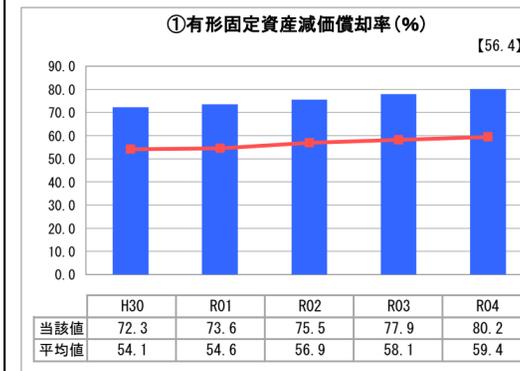
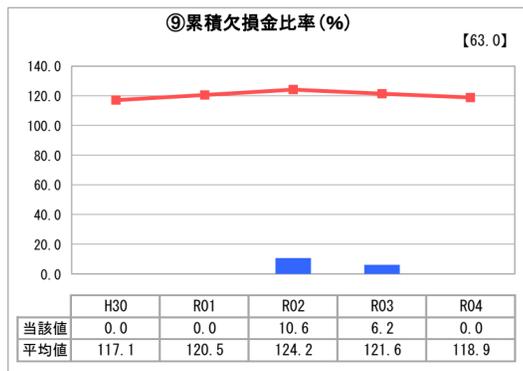
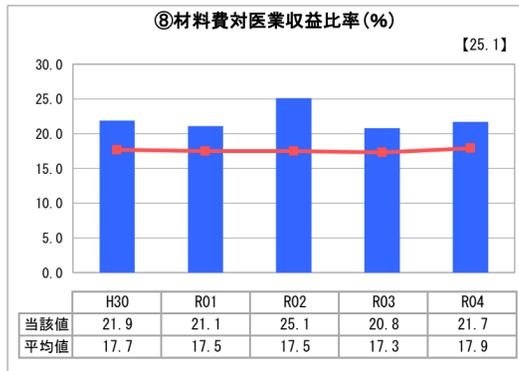
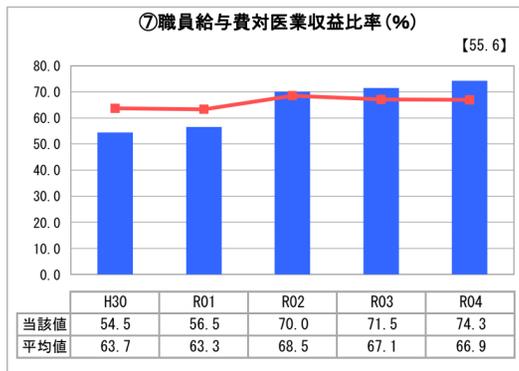
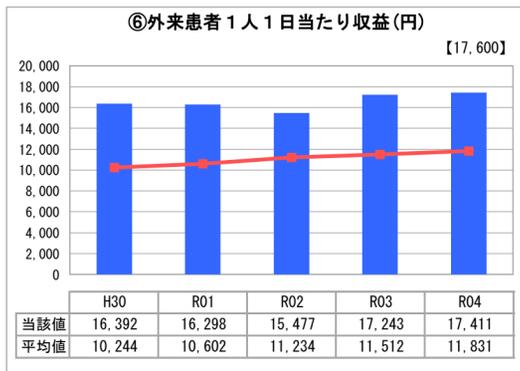
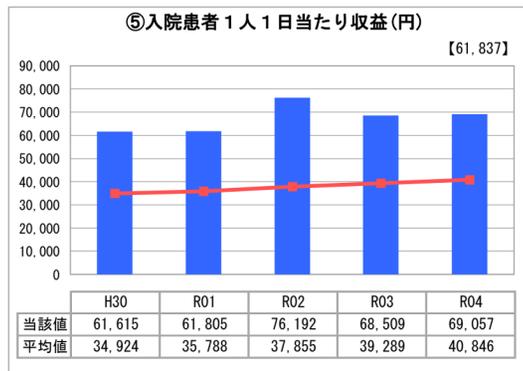
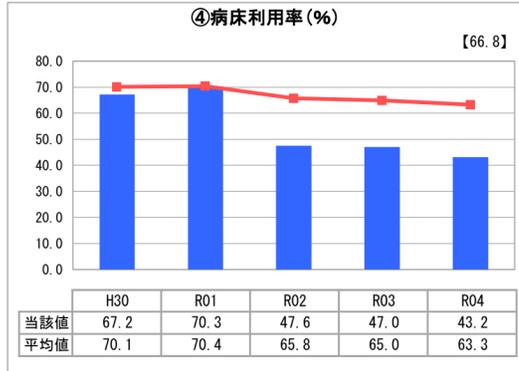
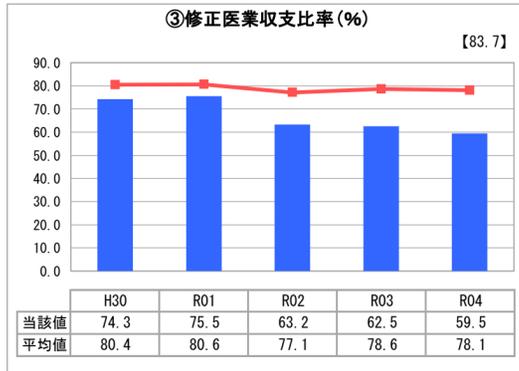
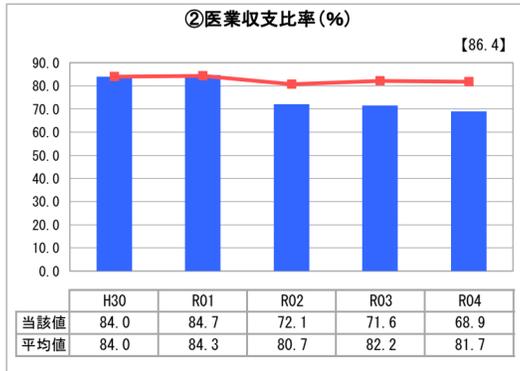
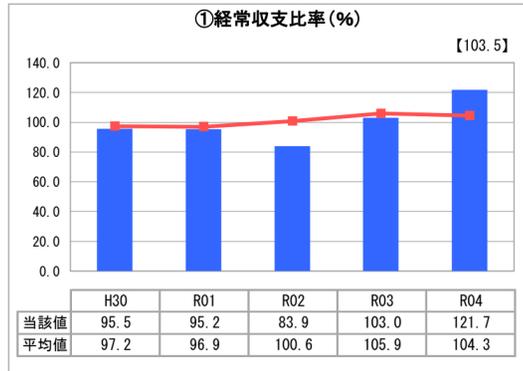
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
100	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	100
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
100	-	100

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

- ・一般病院では対応困難な障害児医療や難治・慢性疾患を中心に、地域医療機関と連携を図りながら高度専門的な包括医療を提供している。
- ・乳幼児健診事業、母子保健従事者への研修、生活集団教室や遺伝相談など母子保健の中核的支援拠点として小児保健サービスを提供している。
- ・児童福祉法に基づく医療型児童発達支援センターを併設し、総合的な療育とリハビリテーションを行うとともに、地域療育教室への職員派遣や療育研修会などのサービスを提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・新型コロナウイルス感染症流行の影響により令和2年度に患者数、収益が大幅に減少したが、令和3年度からは病床確保事業に伴う医業外収益が増加し、令和4年度においては経常収支比率が120%を超えたものの、コロナ禍で患者数や医業収益は依然低い状態が続いたため、医業収支比率は例年よりもさらに落ち込んだ。

2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産減価償却率が類似病院の平均値と比べ高く、また、開設から35年が経過した施設・設備の老朽化が進んでいることから、令和11年1月の供用開始を目指し施設再整備を計画している。
- ・難治・慢性疾患患者を対象とした高度専門医療や一般病院では対応困難な障害児医療を提供するため、性能が高く機能が充実した医療機器を整備し、優れた療養環境を提供する必要があり、1床当たりの有形固定資産が同規模の一般病院の平均値より高くなっている。

全体総括

- ・経営状態は、平成29年度以降赤字が続いていたが、令和3年度に引き続き令和4年度も病床確保事業に取り組むことで医業外収益が増加したことから、黒字となった。
- ・一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により患者数の減少が続いており、医業収支としては厳しい状況であるが、新規患者の増加と病床の最大限稼働の方策を講じるとともに、経費の削減に取り組み、持続可能な経営の実現に努めていく。
- ・また、昭和63年の開設以来、難治慢性疾患の子供を対象とした医療・保健・福祉の中核機関の役割を担ってきたが、施設設備の老朽化などにより十分な対応が困難となってきた。
- ・このため、令和11年1月の供用開始を目指し施設再整備を計画している。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和4年度決算）

滋賀県 精神医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	精神科病院	精神病院	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	4	-	-	臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,413,989	10,398	非該当	非該当	15:1

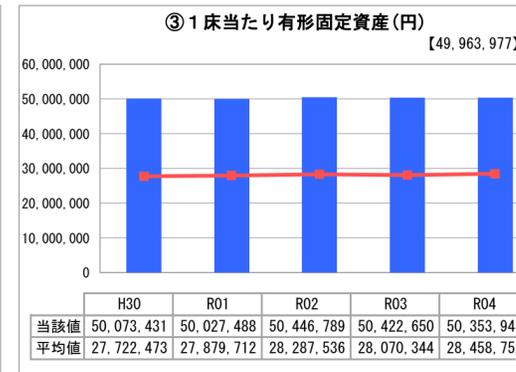
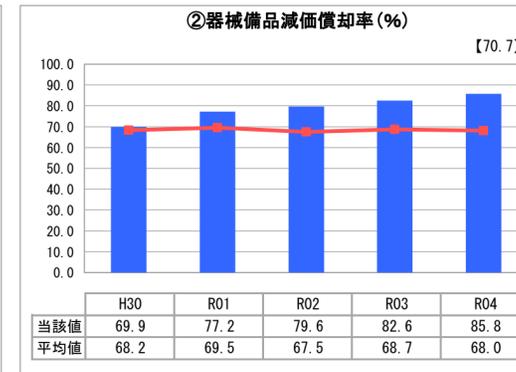
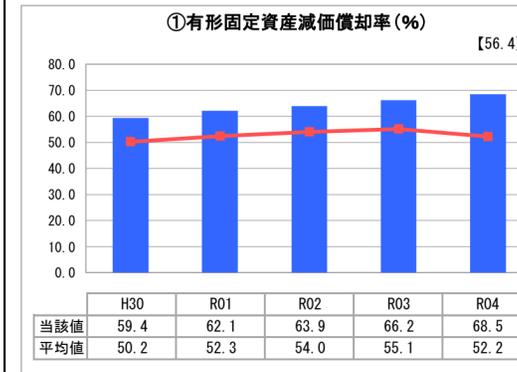
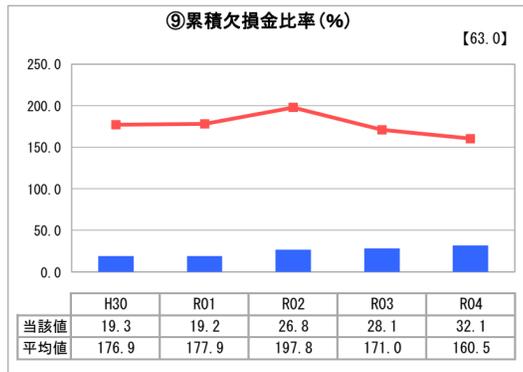
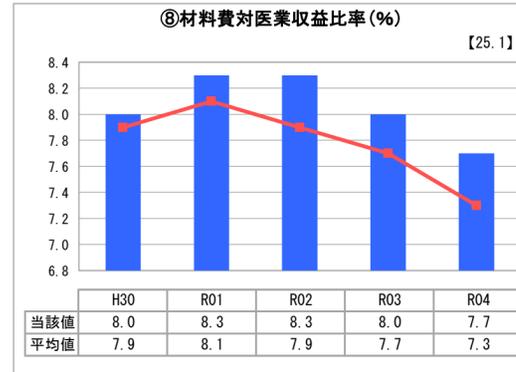
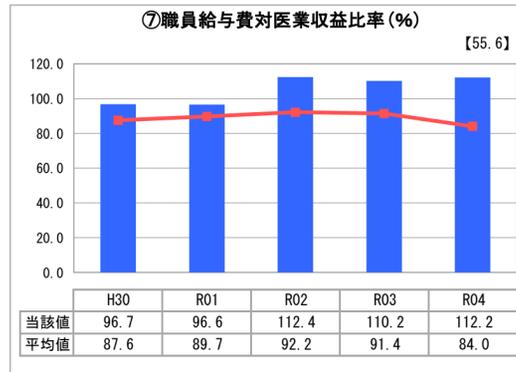
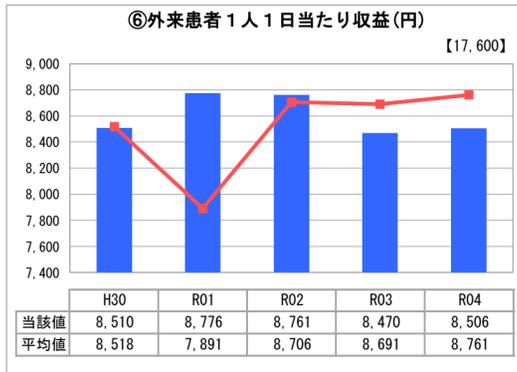
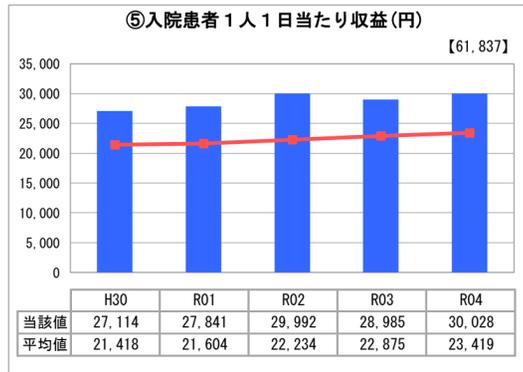
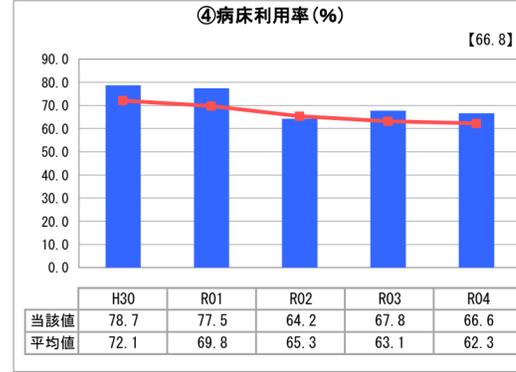
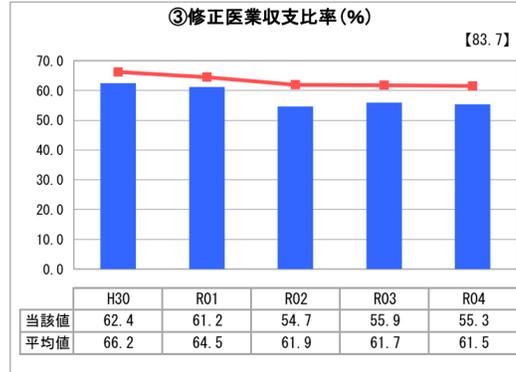
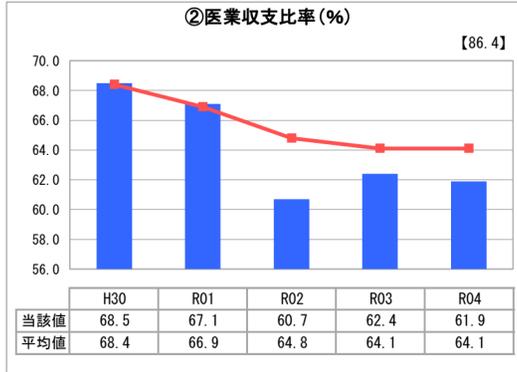
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
123	-	123
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	-	-

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

- ・県内の精神医療を担う中核施設として、地域医療機関や保健所などの関係機関との連携のもと、思春期精神障害、アルコール依存症等中毒性精神障害、精神科救急医療および身体疾患を伴う精神障害などを中心として、高度・特殊専門医療を担っている。
- ・また医療観察法に基づく鑑定入院および指定通院・入院医療機関としての医療を提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ入院収益が昨年度よりわずかに改善したものの、原材料費物価高騰に伴う費用増加により、令和3年度決算に引き続き3年連続赤字決算となった。
- ・令和3年度と比較すると、診療収益が1.2%上昇したものの、原材料費物価高騰により特に光熱水費が増加したことにより医業費用が2.1%上昇した。これにより、医業収支比率は悪化し、経常収支比率も3年連続で100.0%を割り込む結果となった。
- ・累積欠損金比率は類似病院平均値を下回ってはいはいるが、引き続き医業収支比率を改善し、累積欠損金の解消に努める。

2. 老朽化の状況について

- ・平成25年度に新病棟を開設したことから一時的に有形固定資産減価償却率が低下したが、既存病棟は平成4年度に開設したものであり、類似病院平均値と比較してもやや老朽化が進んでいる。
- ・耐用年数を超過している備品が多く、平成26年度に導入した電子カルテの減価償却も進んでいることから、器械備品減価償却率は類似病院平均値と比較してもやや老朽化が進んでいる。
- ・上記県立病院としての役割を果たせるよう、一般的な病院以上の機能を付加して建設しているため、類似病院平均値よりも1床当たり有形固定資産が高くなっている。

全体総括

- ・令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響による入院収益の落ち込みは少し改善したものの、原材料費物価高騰の影響により費用が増加し、令和3年度に引き続き赤字決算となった。
- ・今後は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、一層の診療収益確保・経費節減の取り組みなどにより健全な経営に努め、県立病院としての役割を果たしていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。